

# 令和7年度全国学力・学習状況調査結果の分析と改善に向けて

## 1 調査の概要

- (1) 実施期日  
令和7年4月14日(月)～17日(木)実施
- (2) 調査対象学年  
小学校第6学年(日田市:437人) 中学校第3学年(日田市:541人)
- (3) 調査内容  
◇教科 小学校第6学年 国語、算数、理科  
中学校第3学年 国語、数学、理科  
◇質問調査(児童・生徒)
- (4) 調査内容の説明  
◇「知識」に関する内容と「活用」に関する内容を一体的に問う調査問題  
◇質問調査(児童・生徒)  
・児童生徒を対象に学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
- (5) 用語の説明  
◇正答率:全設問に対して児童生徒が正答した割合(集団の場合は平均値)。  
◇全国比:全国の平均正答率を100とみたときの日田市の割合。  
◇IRTスコア:各設問の難易度などから統計理論に基づいて算出したスコア。

## 2 結果の概要

### 【小学校6年生】

《平均正答率(%)》

	小学校6年生		
	国語	算数	理科
日田市	67	59	57
大分県	69	60	60
全国	67	58	57
全国比	100	102	100

### 【中学校3年生】

《平均正答率(%)》

	中学校3年生		
	国語	数学	理科
日田市	52	41	48.4
大分県	53	45	50.1
全国	54	48	50.3
全国比	96	85	96

※理科はIRTスコア

### 3 児童・生徒質問調査結果について

(1) **生活習慣・家庭での学習習慣等に関する回答状況** (数値は肯定的回答の割合 %)

【自尊意識・将来に対する意識・学校生活・規範意識等】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
自分には、よいところがあると思いますか	90.6	88.3	86.9	80.6	87.0	86.2
将来の夢や目標を持っていますか	85.6	82.8	83.1	66.7	67.6	67.5
学校に行くのは楽しいと思いますか	87.2	87.4	86.5	88.2	87.9	86.1

【基本的な生活習慣・幸福感】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
朝食を毎日食べていますか	92.1	93.5	93.7	91.6	92.2	91.2
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	93.3	94.1	93.0	92.1	92.6	91.6

【社会に対する意識・地域との関わり】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
新聞を読んでいますか ※週に1回以上	6.3	6.9	10.6	2.9	4.4	5.7
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	83.0	81.6	81.3	76.3	76.1	75.3

(2) **教科の学習に対する関心・意欲・態度に関する回答状況**

【国語に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
国語の勉強は好きですか	68.6	64.2	58.3	56.7	61.0	57.9
国語の授業の内容はよく分かりますか	84.7	86.5	82.8	68.5	77.9	77.0
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.9	91.9	90.4	88.0	89.8	88.3
解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか ※全て最後まで書こうと努力した	90.4	87.1	81.7	69.7	65.9	65.3

【算数・数学に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
算数・数学の勉強は好きですか	62.3	60.8	57.9	51.2	53.7	53.8
算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	81.3	81.3	78.3	62.6	66.7	70.3
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.9	92.1	91.6	73.9	78.1	75.2
言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く（解答を言葉や数、式を使って説明する）問題がありましたか、どのように解答しましたか ※全てで最後まで書こうと努力した	80.9	79.5	74.5	55.3	54.5	54.9

【理科に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
理科の勉強は好きですか	82.5	79.1	80.1	65.3	68.8	63.8
理科の授業の内容はよく分かりますか	89.7	89.8	88.9	64.5	74.3	71.4
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	81.4	81.0	79.9	62.3	66.9	63.4
解答を文章で書く問題がありましたか、どのように解答しましたか ※全てで最後まで書こうと努力した	85.9	86.9	81.8			

【授業改善・学習指導】※「主体的・対話的で深い学び」「新大分スタンダード」に関連

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか	85.8	86.4	84.9	86.9	85.9	84.7
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	79.0	81.5	80.3	75.5	76.9	77.7
自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	64.6	63.4	68.6	54.0	54.6	63.0
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解してないところについて、わかるまで教えてくれていると思いますか。	91.2	91.3	88.4	83.0	89.0	83.8

## 4 クロス集計について

### (1) クロス集計結果の概要

#### ①児童生徒の朝食を食べる割合と平均正答率の関係

【朝食を毎日食べている】

選択肢	小学校6年生			中学校3年生		
	国語 正答率	算数 正答率	理科 正答率	国語 正答率	数学 正答率	理科 IRT スコア
している	68.5	60.8	58.4	54.2	42.9	495
どちらかといえば、 している	61.6	53.8	53.1	46.2	34.4	450
あまりしていない	55.5	41.5	45.8	48.4	33.0	456
全くしていない	63.4	47.7	49.3	39.5	24.2	403

#### ②個別最適な学びと平均正答率の関係

【5年生までに（1、2年生の時に）受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていたか】

選択肢	小学校6年生			中学校3年生		
	国語 正答率	算数 正答率	理科 正答率	国語 正答率	数学 正答率	理科 IRT スコア
当てはまる	71.6	65.4	62.2	58.9	48.2	526
どちらかといえば、 当てはまる	65.7	56.9	55.5	52.9	42.8	484
どちらかといえば、 当てはまらない	61.3	50.4	50.8	46.4	30.2	455
当てはまらない	58.8	50.0	48.4	30.8	14.6	377

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
どちらかといえば、当てはまらない・当てはまらないの割合 5年生までに（1、2年生の時に）受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていたか	16.8	14.3	16.5	21.7	17.7	19.6

③児童生徒の1日当たりの学習時間と平均正答率の関係(平日)

【普段(平日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか】

選択肢	小学校6年生			中学校3年生		
	国語 正答率	算数 正答率	理科 正答率	国語 正答率	数学 正答率	理科 IRT スコア
3時間以上	61.9	51.9	54.2	51.1	42.1	506
2時間以上、3時間 より少ない	66.3	56.6	54.0	55.7	43.3	512
1時間以上、2時間 より少ない	72.5	65.4	62.3	55.2	42.8	496
30分以上、1時間 より少ない	68.6	60.0	57.3	50.1	39.0	470
30分より少ない	62.0	55.0	52.7	49.0	38.0	468
全くしない	50.9	43.3	49.1	42.1	30.4	409

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
30分以上、1時間より少ない・30分より少ない・全くしないの割合						
普段(平日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか	52.3	41.8	46.0	42.9	25.9	38.1

## 5 現状と分析について

### <現状>

#### 【小学校】

- ・すべての教科で、全国値以上。
- ・教科の愛好度が全国に比べて非常に高い。
- ・記述問題に対して「全てで最後まで書こうと努力した」と回答した児童の割合が全国よりも高い。
- ・算数において、3年で学習した内容の問題の正答率が、全国値を約3ポイント下回っている。

#### 【中学校】

- ・すべての教科で、全国値を大きく下回った。
- ・すべての教科で、「好きか（愛好度）」「学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思う」の回答は、全国値と同程度ではあるが、理解度に関しては、7ポイント以上全国値を下回っている。
- ・「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができますか」の質問に対して、87%と、県や全国の値と比較すると高い。

#### 【小中共通】

- ・「学校に行くのは楽しいと思うか」「普段の生活の中で幸せな気持ちになることはあるか」について、全国値を上回り、特に、中学校は昨年度よりも5ポイント以上上回っている。

### <分析>

#### 【小学校】

- ・国語において無解答率が低く、また、記述式解答率が高いことから、言語活動を通して力をつける指導ができており、児童は普段の学習の成果を発揮できていると言える。
- ・国語における「情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方」についての正答率が、約5ポイント下回った。昨年度も課題となっていることから、国語科における情報活用能力の育成に注力することも考えられる。
- ・「授業改善・学習指導」に関連する質問事項の多くで、全国値と同程度以上となっており、各学校において組織的な授業改善が行われていると考えられる。

#### 【中学校】

- ・教科に関する調査においては、国語・数学・理科で、昨年度よりも全国値との差は少なくなっているものの、正答率で全国値を大幅に下回ったことから、指導改善が急務である。
- ・数学において、知識技能の観点での開きが大きいことから、習熟に応じた指導の観点から授業を見直し、「わかる」授業づくりと「できた」を感じられる定着が求められる。
- ・「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができますか」の回答が、小学校の数値よりも高いことから、質問内容のような授業を繰り返すことで、理解度が高まることを期待できる

#### 【小中共通】

- ・すべての教科において、文章等の記述式の問題の「全てで最後まで書こうと努力した」の回答が全国及び県の値を超えており、粘り強く取り組む傾向にあることが分かる。
- ・「朝食を毎日食べる」等、基本的な生活習慣が確立している児童生徒は、平均正答率が高い傾向が見られる。
- ・「個別最適な学び」に関連する項目については、自分に合った学びになっていた児童生徒の正答率が高くなる結果となった。このことから、「わかった」「できた」授業づくりには、個別最適な学びを行うことは鍵となる。
- ・児童生徒の平日の学習時間が1時間より少ない児童が52%、生徒が43%いること、また、学習時間は正答率にも影響していることが分かった。

## 6 今後の取組について

学力調査は、教員や児童生徒に対して学力の土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員の指導改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上に役立てる目的として実施している。

つまり、実施した結果数値よりも、原因分析と改善方策が大切であり、何が足りないのか、児童生徒の学力のために授業、それ以外において何が必要なのかを考え、実践する必要がある。

今回の結果から、子供達からのメッセージをしっかりと受け止め、組織として改善のために取り組まなければならない。

### ①【授業改善】

**全ての児童生徒が「わかった」「できた」と感じる授業づくり**

(仮説)

**低学力層（小学校は評定1、中学校は評定1・2）の児童生徒が学びに向かうような授業を実施すれば、愛好度や理解度が維持・上昇し、12月調査において偏差値が上昇するのではないだろうか。**

- (1) 子供の実態を総合的な数値だけでなく、個人を見つめなおすために、評定別の一覧表を作成し、校内で共有する。
- (2) 個別最適な学びと協働的な学びを適切に使い、全ての児童生徒が学びに向かう授業を実践する。※可能な限り、少人数、習熟度など授業形態を工夫する。
- (3) 授業を自分ごとにするために、めあてを作り、振り返りをする。
- (4) 定着状況を把握するために、見取りを確実に行う。
- (5) 12月調査において、低学力層の児童生徒の変容を把握し、取組の成果や課題を分析する。また、2学期末の学校独自アンケートで、教科の学習が「好き」「わかる」の変容を把握する。

### ②【帯学習】【補充学習】【家庭学習】

**帯学習で、継続して基礎基本の力を培う。**

**補充学習と家庭学習で、確実に学習を定着させる。**

(仮説)

**意図的な【帯学習】【補充学習】【家庭学習】を継続して実施し、児童生徒が「できた」と感じる機会を確保すれば、理解度と愛好度が上昇するとともに、基礎基本となる知識技能が定着するのではないだろうか。**

- (1) 組織的・継続的にAIドリルに取り組み、知識技能を定着させる。
- (2) 授業時間内の帯学習、時程内の帯学習を計画的に実施し、継続することで力をつける。  
(例) 帯でAIドリルを行い、補充が必要な子供には直接指導を行う。
- (3) 各学習において、教科の課題を分析し、何のために何をするのか、目的を持たせて実施する。  
※条件作文、単語テスト、音読など、積み重ねれば目に見えて力がつく。
- (4) 自分の学びを向上させたり、振り返ったりすることのできる家庭学習を、習慣となるように継続する。

### ③家庭との連携

#### (仮説)

**学校が、児童生徒の学力や学習状況と改善策を知らせ、家庭と共に学習指導や学習状況の改善に取り組めば、家庭では、自ずと勉強の話をする時間が増え、児童生徒の学習の時間が長くなるのではないだろうか。**

- (1) 学力低下の一要因として考えられる「家庭での学習習慣に関する質問」や「家庭でのメディア使用時間に関する質問」の数値を機会がある度に家庭へ発信し、課題に対する協力を依頼する。
- (2) 懇談会などで家庭学習についての話題を取り上げ、「家庭で、勉強についての話をする時間を作る」など、学校と保護者と共に取組について考える時間を作る。
- (3) HPへの公開、学校だよりなどを活用し、地域へ現状を知らせる。
- (4) 学力向上会議や学校運営協議会での議題に取り上げ、メディアルールを作ったり、家庭学習時間チェックをしたりするなど具体的な対策を講じる。
- (5) アンケート、実態調査などから変容をとらえ、学力の変容と共に報告する機会を作る。

### ④その他

#### ●各学校による調査結果の分析と具体的な対策の作成及び取組

- ・各学校は8月20日までに調査結果を分析し、成果と課題を明らかにしたうえで、授業改善等の具体的な対策を講じ、2学期から取組を始める。

#### ●研究主任会の開催（オンライン）

- ・日田市が目指す組織的な授業改善及び学力調査結果をもとにした授業改善に関する説明を開催する。
- ・2学期の3つの仮説検証の取組の進捗状況を交流する。

#### ●日田市の指導教諭等に学ぶ取組

- ・日田市の指導教諭の互見授業に合わせ、授業公開を設定することで、授業実践に実践の内容説明、参観者からの質問時間を加え、身近な所から学ぶ機会を作る。
- ・各学校における効果的な校内研修や、日田市の夏休みセンター研修を録画し、オンデマンドで研修ができる機会を作る。

#### ●他市町村に学ぶ取組

- ・参考となる他市の視察に行き、好事例を取り入れる。  
各学校において、または、教科部会等を通じて共有を行う。

#### ●教科部会で授業改善研修の実施

- ・全教科担当者が参加する場において、大学教授や県の指導主事を招き、授業研究会の中で指導助言をいただく。
- ・課題のある英語に関しては、ALTの活用研修や実践や情報の共有のための研修の機会を作り、指導主事が積極的に働きかける。